

科目名 (科目番号)	在宅看護論実習 (074273)	教員名 荒木章裕 他	学科等	看護	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		A313研究室(荒木)		
授業概要	県内の訪問看護ステーションを実習施設として、訪問看護師と同行訪問し在宅療養者とその家族に対する訪問看護の実際を学び、看護過程を理解するとともに在宅看護活動を学ぶ。また、受け持ち事例について、必要に応じ主治医、市町村介護保険担当部門等との連絡・連携に同行し、在宅ケアシステムや介護保険制度を理解する。 関係する垂直軸:看護、人間の理解、コミュニケーション、健康の状態、生活環境、多職種連携						
準備学習							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	1. 到達目標					
	2	(1)訪問看護ステーションにおいて、訪問看護師の訪問に同行し、訪問看護の機能と役割について理解できる。					
	3	(2)居宅介護支援事業所において、介護支援専門員の業務内容とケアマネジメントの実際を理解できる。					
	4	(3)通所リハビリテーションにおいて、1日のプログラムに参加し、サービス内容と役割について理解できる。					
	4	(4)3事業所での実習をとおり、地域で生活する在宅療養者および家族等が、介護保険制度など在宅で利用できるサービスをどのように活用して療養生活を送っているか、また、在宅生活を支援している関係機関や関係職種の役割と連携方法、連携の必要性について学び、地域における在宅看護の役割や位置づけを理解できる。					
	5	2. 学習内容					
	5	(1)訪問看護の機能と役割について学ぶ。					
	6	1)訪問看護を利用している受け持ち利用者を中心に、療養者の在宅療養の状況、疾患、看護援助および家族・介護者の状況について理解する。					
	6	2)訪問看護に同行し、在宅看護に必要な基本的な看護技術を学ぶ。					
	7	3)訪問看護における看護師の役割について理解する。					
	7	4)受け持ち療養者および家族の生活や療養上の問題について、その経過を観察し援助を必要とする内容についてアセスメントができる。					
	8	5)居宅介護サービス計画に位置付けられている訪問看護の役割について理解する。					
	8	6)療養者への訪問看護を提供するなかで、連携が必要な関係機関やその必要性、連携方法について理解する。					
	9	(2)通所リハビリテーションの機能と役割について学ぶ。					
	9	1)通所リハビリテーションの利用者のADL、IADLの状況を知る。					
10	2)通所リハビリテーションのサービス利用に対する利用者本人の思いを知る。						
10	3)通所リハビリテーションに参加している利用者の一日の過ごし方を知る。						
10	4)利用者と共にサービスプログラムに参加し、サービス内容とその効果について考えることができる。						
10	5)サービス提供に関わる職種の役割と連携について理解する。						
11	(3)居宅介護支援事業所の機能と役割、および介護支援専門員が行うケアマネジメントの実際を学ぶ。						
11	1)居宅介護支援事業所や介護支援専門員の業務内容について知る。						
12	2)在宅療養者を地域で支援するために必要なケアマネジメントについて学ぶ。						
12	3)居宅介護サービス計画の立案からモニタリングについて学ぶ。						
12	4)サービス担当者会議の役割について知る。						
13	(4)上記の学習を基に、受け持ち療養者の訪問看護計画を立案することができる。						
13	1)訪問看護における受け持ち療養者の情報収集・アセスメント・看護計画立案ができる。						
13	2)立案された看護計画に基づき、可能な範囲で実施し、その評価ができる。						
14	3)既存の居宅サービス計画から、在宅での生活を継続するために必要な在宅サービスや社会資源の選択およびその利用によって期待される効果についてまとめることができる。						
14	4)受け持ち療養者の概要と看護計画についてまとめ、学内カンファレンスで発表することができる。						
15							
成績評価の方法・基準	在宅看護論実習要項の評価表に基づき、事前課題、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価する。						
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (在宅看護概論で購入済)		河原加代子 著者代表			医学書院	
参考図書	1.ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア 在宅看護論 2.関連図で理解する在宅看護過程 3.写真でわかる訪問看護アドバンス 4.在宅看護実習ガイド		1.櫻井尚子 ほか編 2.正野逸子・本田彰子編著 3.押川真喜子監修 4.山田雅子編集			1.メディカ出版 2.メヂカルフレンド社 3.インターメディカ 4.照林社	
教員からのメッセージ	在宅看護論実習は、在宅看護概論・在宅看護援助論で学んだ在宅看護に関する知識と基礎看護学及び基礎看護技術で習得した看護技術を基に、訪問看護ステーション及び在宅ケア関連施設での実習を行います。在宅看護では、療養者個人の居宅に同行訪問し、実習を行いますので、実習に取り組む態度、積極性、一般の社会規範等を守った行動・言動をとりましょう。						